

## 陽炎シリーズで漏電するモーターは使用禁止

説明書記載では電動ガン用ブラシモーターは使用可能となっておりますが、**陽炎シリーズで使用すると故障の原因となる恐れものが発見されました。**

事象としましては**モーターが漏電を起こしメカボックスへ流れてしまう**というものです。

### ■ テスターによるチェック方法

テスターの導通テストモードまたは抵抗値の測定モードで行います。

ターミナルと軸で導通テストを行ったところ導通状態となりました。

更に詳しく調べるためにブラシを両極とも外して+側と-側のターミナル間で導通テストを行いました。

結果は導通状態でした。

※テスターの使用方法はお手持ちのテスターの説明書をお読みください。



※正常なモーターではブラシ未装着状態ではターミナルと軸で導通することはありません。

### ■ モーターを分解して目視による確認

エンドベル（ターミナル含む）を固定するネジがハウジングに接触していた跡（画像の赤○部分）が+側、-側ともにありました。



上記の結果から漏電する経路がわかります。

ターミナル→エンドベルを固定ネジ→ハウジング→軸受け→軸→ピニオンギヤとなります。

例えば、メカボックスから軸受けを通りセクターギヤに流れること可能性もあります。

シム調整等によりセクターギヤがカットオフ検出スイッチに触れていたら**漏電した電気は制御基板へ流れ故障の原因となる可能性があります。**

上記のようなモーターの漏電等を調べるには安価なテスターでも行えます。

テスターを使用すると外見では判別の難しいモーターのコイル切れも導通テストで調べることもできます。